

東北地方太平洋沖地震に伴う福島県南相馬市等における 歯学部の医療協力活動報告 ①

3日(日)午後福島入りして、空港から1時間くらい車で県立医大に集合しました。羽田～福島は臨時便で、今後は、伊丹経由で福島空港という流れが基本になります。

県立医大(福島県立医科大学)が医療拠点となっており、こちらでいろいろと集約されています。「20～30Km圏域の在宅(巡回)診療に関する打ち合わせ」という会議で、15時30分からの予定でしたが、空港から時間がかかり、医師会チームと私は16時ごろ遅れて到着しました。

打ち合わせといっても、大きな会議で100人ほどは集まっていました。参加者は福島県、県立医科大、長大、長崎県医師会、自衛隊、消防機関で、1/3は自衛隊、消防は神戸からも来ておりかなり大がかりな会議でした。

今回のチーム編成は7チーム自衛隊が3チーム、福島医大が1チーム、それに加えて長崎から医師会1チームと長大が医科歯科で2チームです。

全体のミッションは、自力移動困難者の医療対策で、確認者リストが160名ほどおり、それに準ずる者が300人程度はいるそうです。リストを見ますと、かなり高齢で、70歳代後半から100歳まで、平均が80歳代といったところです。

また、移動困難者となっていますが、移動したくないというのが実情のようです。実際、避難所の生活よりは自宅にいたほうがずっといいという感じのようです。

圏域の病院は一度避難した医師もだいたい戻ってきて、外来診療を再開していますが、入院はすべて圏外に転院したそうでゼロとのことでした。

(出発前に)安岡先生と話し合った結果、一緒に巡回しても無駄が多いのでは、ということになり、木金土に地元の方々と連絡を取りまして、歯科口腔ケアチームとしてまずは、現地の保健所の歯科衛生士と避難所を回ることにしました。地元歯科医師会の会長や現地に戻ってきている歯科の先生とも相談しましたが、避難所でも寝たきりに近い状態の方が沢山おられるとのことで、そちらを中心にみて回ろうと思っています。

巡回に関しては、私のほうで昨日急遽、簡単な「歯科医療・口腔ケア ニーズ調査票」を作成しました。これを使って巡回診療チームに情報を集めてもらい、私のところに集約して、必要性の高いところから後日回るという段取りにさせていただきました。明日は午前中、南相馬市に移動して、市役所等であいさつ、その後保健所で打ち合わせ準備後すぐに出動の予定です。

巡回診療チームはすべて自衛隊の車で、歯科チームは避難所なので衛生士さんが一緒に普通の車で回ってくれるようです。

地元の歯科開業医は先週4軒ほど戻ってきているようで、診療も始めておりますので、動ける方は避難所から歯科医院へ繋げることができればと考えています。私のほうで、被災地用の簡易型の歯科診療録と、紹介状を作成しております。

明日にでも物品リストとともに添付いたします。

今回、このミッションに「歯科チームが参加する」ということ自体が、とても大きな成果のような気がしています。

福島より報告

平成 23 年 4 月 3 日 齋藤俊行